資料 3
（第 7 回基本政策部会資料）

# 次期宇宙基本計画　骨子（案）

令和 2 年 2 月 17 日
宇宙開発戦略推進事務局

## 1. 宇宙政策を巡る環境認識

### (1) 安全保障における宇宙空間の重要性の高まり

① 宇宙空間は、安全保障上、優位性を獲得することが死活的に重要

② 米国やフランスが宇宙軍等を設置するなど、各国が宇宙の活用を強化

### (2) 社会の宇宙システムへの依存度の高まり

① Society5.0 において、宇宙システムは社会にとって不可欠な存在

② 災害対策や気候変動問題などの解決に向け、宇宙システムへの期待が拡大

### (3) 宇宙空間の持続的かつ安定的利用を妨げるリスクの深刻化

① スペースデブリの増加など、宇宙空間の安定的利用を妨げるリスクが深刻化

② リスクに対処するため、各国の積極的な取組や信頼醸成、国際的なルール作りなどが必要

### (4) 諸外国の宇宙活動の活発化

① 欧米やロシアに加え、中国やインドも急速に存在感を拡大

② 宇宙新興国が増加し、宇宙システムに対する需要は拡大の見込み

### (5) 民間の宇宙活動の活発化

① 米国等の巨大資本の参入によるゲームチェンジ

② 我が国の宇宙ベンチャー企業の動きも活発化

### (6) 宇宙活動の広がり

① サブオービタル飛行など、新たな宇宙ビジネスへの挑戦が活発化

② 米国提案による国際宇宙探査

### (7) 技術の急速な進化

① 小型化・低コスト化、衛星コンステレーション、フレキシブル化、量産化、宇宙光通信、量子暗号通信、AI、ロボティクス　等

② 開発や製造段階のデジタル化

③ 我が国も対策が急務

## 2. 我が国の宇宙政策の目標

測位や通信、情報収集衛星とその打ち上げに必要な宇宙輸送システム等を自立的に開発・運用できる産業・科学技術基盤の下、以下の目標を達成。

### I. 宇宙政策の目標

#### (1) 宇宙安全保障の確保

① 宇宙空間の安定的利用の確保

② 宇宙利用の優位を確保するための能力の強化

③ 安全保障面における日米宇宙協力の強化

#### (2) 災害対策・国土強靭化や地球規模課題の解決への貢献

① 国土強靭化を推進するとともに、気候変動問題等の地球規模課題の解決に貢献

#### (3) 宇宙科学・探査による新たな知の創造

① 宇宙科学・探査を強化し、世界的な成果を創出

#### (4) 宇宙産業の発展による経済成長とイノベーションの実現

① 宇宙産業の発展を我が国の経済成長とイノベーションのドライバーに

### II. 産業・科学技術基盤の強化

宇宙輸送システムの維持・強化、先端技術を活用した衛星の開発・実証、人材育成、国際宇宙協力など、我が国の宇宙活動を支える産業・科学技術基盤を強化

## 3. 宇宙政策の推進に当たっての基本的なスタンス

### (1) 安全保障や産業利用等のニーズに基づく出口主導の宇宙政策

① 宇宙システムに求められるニーズを把握し、出口戦略の明確化を徹底

② 成果を確実に出口につなげるため、タイムリーな技術実証など戦略的に対応

### (2) 投資の予見性を与え、民間の活力を最大限活用する宇宙政策

① 国の具体的な施策を可能な限り「工程表」において公表

② 民間が担える部分は可能な限り民間から調達

### (3) 人材・資金・知的財産等の資源を効果的・効率的に活用する宇宙政策

① 人材や資金、知的財産、衛星データ等の資源を効果的・効率的に活用

② 技術開発を強化するとともに、成果は他分野を含めて転用を図り、有効活用

③ 異業種からの人材や資金の取り込み

④ 事前・事後評価により既存プロジェクトを効率化、合理化、メリハリ付け

### (4) 同盟国・友好国と戦略的に連携する宇宙政策

① 国際的なルール作りへの積極的関与、宇宙分野における国際協力の推進による経済的繁栄の実現及び平和と安定の確保への貢献

② 適切なテーマは、我が国の強みを活かしながら、同盟国等と戦略的に連携

## 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ

### (1) 宇宙安全保障の確保

① 基本的な考え方

測位、通信、情報収集、MDA のための宇宙システムの整備とその能力の向上。同盟国等と連携した SSA をはじめ必要な体制の構築。ミッション・アシュアランス（機能保証）のための能力の強化。

② 主な取組

### (2) 災害対策・国土強靭化や地球規模課題の解決への貢献

① 基本的な考え方

測位、通信・放送、気象、環境観測、地球観測等のための宇宙システムをニーズに基づいて整備し、災害対策や地球規模課題の解決に貢献。

② 主な取組

### (3) 宇宙科学・探査による新たな知の創造

① 基本的な考え方

宇宙科学・探査を更に発展させ、新たな知の創造につなげるとともに、我が国のプレゼンスの向上に貢献。米国提案による国際宇宙探査については、我が国として主体性が確保された参画とするとともに、ISS については、民間事業者の参画の拡大を図り、更なる効率化を推進。

② 主な取組

### (4) 宇宙産業の発展による経済成長とイノベーションの実現

① 基本的な考え方

宇宙産業の拡大が世界で期待される中、我が国の経済がこれを牽引力として成長するよう必要な環境を整備。地域経済の活性化にも貢献。

② 主な取組

### (5) 産業・科学技術基盤の強化

① 基本的な考え方

測位や通信、情報収集衛星など、社会システムにおいて基本的な役割を果たす衛星とその打ち上げに必要な宇宙輸送システム等を我が国として自立的に開発・運用できる能力を維持・強化。また、人材の育成を強化するとともに、国際宇宙協力を進めるなど、我が国の宇宙活動の基盤を強化。

② 主な取組